

第 28 回

札幌市公共事業評価検討委員会

資 料

開 催 令和7年1月10日

札幌市公共事業（国土交通省所管補助事業及び交付金事業）再評価一覧表

事業 種別	番 号	事業名	事業目的・概要	対象事業選定理由					事業の経緯			事業費（百万円）				B/C	対 応 方 針	評 価 理 由 等	個 別 書 評 価
				①	②	③	④	⑤	事業 採択年度	工事等 着手年度	完了 予定年度	総 事業費	事業費 累 計	進捗 率	残 事業費				
街路事業		社会資本整備総合交付金 事業 札幌圏都市計画道路事業 3・4・619号 石山・ 穴の沢通	都市計画道路の整備 L=620m W=16.0m		○				H27	H27	R9	1,612	1,057	66%	555	1.6	継 続	拡張整備により円滑な 交通の確保が可能とな るとともに、残り区間 も整備することで高い 事業効果を見込めるこ とから事業継続とす る。	

※対象事業選定理由については、下記のいずれかに○印を記入。

①は、事業採択後、一定期間が経過した時点で未着工の事業（一定期間とは5年間）

②は、事業採択後、長期間が経過した時点で継続中の事業（長期間とは補助事業においては5年間、交付金事業においては10年間、継続中の事業には一部供用されている事業を含む）

③は、準備・計画段階で一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間）

④は、再評価実施後、一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間、交付金事業における下水道事業は10年間）

⑤は、社会経済の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業。

※対応方針については、「継続」「見直し継続」「中止」のいずれかを記入。

社会資本整備総合交付金
札幌圏都市計画道路事業
3・4・619号 石山・穴の沢通

社会資本整備総合交付金事業
札幌圏都市計画道路事業
3・4・619号 石山・穴の沢通

第28回 札幌市公共事業評価検討委員会

1/5,000

札幌圏都市計画道路事業 3・4・619号 石山・穴の沢通

事業区間：石山通～市街化区域界
事業延長：L=620 m
計画幅員：W=16.0 m

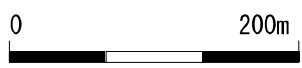
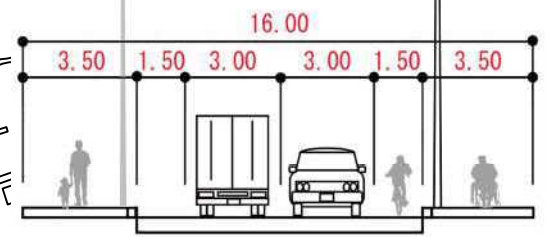
石山通（国道230号）

石山2条9丁目

石山
中学校

単位(m)

<計画断面>



個 別 評 価 調 書

建設局土木部道路課

事業種別	街路事業		番号	事業名	社会資本整備総合交付金事業 札幌圏都市計画道路事業 3・4・619号 石山・穴の沢通				
事業の概要 及び目的		本事業は、当該道路と交差する都市計画道路事業3・4・620号石山・藤野通 [※] と一体となつて効果を発揮し、石山、藤野地区における地域内外のアクセス性向上及び石山通（国道230号）の緊急時の代替・迂回機能の確保、両側に歩道や路肩整備による歩行者の安全確保や冬期間の堆雪スペース確保などを目的に道路拡幅を行うものである。 [※] 石山・藤野通：事業期間R3～9年度、L=860m、W=16.0m、事業費=約20億円							
対象事業 選定理由	事業 採択年度	工事等 着手年度	当初完了 予定年度	完了 予定年度	経過 年数	総事業費 (補助率)	事業費 累計	進捗率	残 事業費
②	H27	H27	R8	R9	10	百万円 1,612 60%	百万円 1,057	% 66	百万円 555
B/C（費用便益比）		内 訳 等							
1.6 算出手法：費用便益分析 マニュアル（令和5年12月） 本事業石山・穴の沢通と 石山・藤野通を一体評価		費用 総費用：3,320百万円 〔事業費：3,213百万円 維持管理費：107百万円 （整備後50年間）〕				便益 総便益：5,276百万円 〔走行時間短縮便益：5,036百万円 走行経費短縮便益：135百万円 事故減少便益：106百万円〕		その他 ＜評価基準年度＞ 令和6年度 ＜評価対象期間＞ 平成27～令和59年度	
要領に基づく点検事項		点 検 内 容							
(1) 事業の 必要性に 関する 視点	①事業を巡る 社会経済状 況等の変化	・本事業と交差する札幌圏都市計画道路3・4・620号石山・藤野通において、令和3年度から事業が進められている。							
	②事業の投資 効果	(B/Cで考慮されている効果) ・交通円滑性の向上 ・走行速度の向上 ・交通事故の減少 (B/Cに含まれていない効果) ・歩行の安全性、快適性の向上及び環境改善 ・生活機会、交流機会の拡大 ・時間信頼性の向上 ・災害時の代替路確保							
	③事業の進捗 状況	令和5年度末までに事業延長約620mのうち約120mで整備が完了している。令和6年度は、道路整備工事を約90m行っている。用地買収の約9割が補償済または契約済であり、残りの用地買収についても進めている。							
(2) 事業の進捗の 見込みの視点		残りの区間の用地買収及び道路整備を進め、令和9年度までに事業完了する予定である。							
(3) コスト削減や 代替案立案等の 可能性の視点		資材の選定にあたっては、再生材（アスファルト等）を使用するなど、積極的なコスト削減に取り組んでいる。							
(4) その他 (環境配慮や 地元調整状況等)		工事の実施にあたり、建設副産物のリサイクルなど環境負荷の低減に取り組んでいる。また、地元町内会や沿道の方々へ適宜事業進捗状況等の情報提供を行いながら事業を進めている。							
対 応 方 針		評 価 理 由							
継 続		拡幅整備により、1年を通して円滑な交通の確保が可能となるとともに、歩行者等の安全性が向上し、残り区間も整備することで高い事業効果を見込めることから事業継続とする。							

※対象事業選定理由については、下記のいずれかの番号を記入。
①……事業採択後、一定期間が経過した時点で未着工の事業（一定期間とは5年間）
②……事業採択後、長期間が経過した時点で継続中の事業（長期間とは補助事業においては5年間、交付金事業においては10年間、継続中の事業には一部供用されている事業を含む）
③……準備・計画段階で一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間）
④……再評価実施後、一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間、交付金事業における下水道事業は10年間）
⑤……社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業

※対応方針については、「継続」「見直し継続」「中止」のいずれかを記入。

個 別 評 価 調 書 資 料

建設局土木部道路課

事業種別	街路事業	事業名	社会資本整備総合交付金事業 札幌圏都市計画道路事業3・4・619号 石山・穴の沢通		
------	------	-----	---	--	--

事業着手の契機等

本事業は、石山、藤野地区における地域内外のアクセス性向上や石山通（国道230号）の緊急時の代替・迂回機能の確保、両側に歩道や路肩を整備することによる歩行者の安全確保や冬期間の堆雪スペース確保などを目的に道路拡幅を行うものである。

整備水準の選定

・平成18年度に実施したパーソントリップ調査の結果を基に推計した将来推計交通量（令和12年）に対応できる規格で整備を行っている。

事業の経緯

●——● 評価年度以前の事業実施状況

●……● 評価年度以後の事業進捗状況（見込み）

◆ 開始年度

✿ 完了年度

	用地 補償	工 事	関係機関協議			進捗率（％）		協 議 内 容
			交通 管理者	開 発 局		事業 費	（整備 延長） 事業 量	
(事業採択)								交通管理者（公安委員会） 北海道警察本部交通規制課 ・交差点協議 ・交通規制協議 北海道開発局札幌開発建設部 札幌道路事務所 ・国道230号交差点に関する 交差点協議
平成27						1		
平成28	◆							
平成29								
平成30								
平成31						6		
令和 2		◆				26		
令和 3						39		
令和 4						56	19	
令和 5						65		
令和 6	●	●	●	●		77	34	
令和 7	……	……	……	……	✿	89	61	
令和 8 (完了予定)	✿					95	81	
令和 9		✿	✿			100	100	

備 考